



よきかな若人



《中体連大会迫る！！》 ～一丸となって全力を出し切ろう(飯中' BEST)～

6月3日(土)の北信陸上, 長水大会の卓球を皮切りに, いよいよ中体連の大会が始まります。最終調整の日々が続いていますが, グラウンド, コート, オープンスペース, 体育館から, 勝負のときに挑もうとする各部の気迫のこもった動きと声が伝わってきています。



～大会に向けての決意～

男子バレー部	渡邊 帝仁 くん	10日, 11日に行われる長水大会に出場します。全員が全員のためにがんばり, 一球一球を大切に, 全力で戦います。
女子バレー部	町田 理織 さん	10日, 11日に行われる長水大会に出場します。ボールを最後まで追い, 悔いの残らないバレーをします。
男子バスケ部	畑中 裕輝 くん	男子バスケ部は10日に長水大会があります。北信大会へ出場できるように, 部員全員で協力してがんばります。
女子バスケ部	寺島 ももこ さん	10日の大会では, 15人全員が声を出し, 3年生は3年間積み上げてきた成果を出し切ります。
男子ソフトテニス部	橋詰 翼 くん	長水大会個人戦が10日, 11日から始まります。また, 北信大会の個人, 団体戦が24日, 25日にあります。全員が部の目標やペアの目標を達成できるようにがんばります。
女子ソフトテニス部	萱沼みずき さん	長水大会を勝ち抜き, 団体戦, 個人戦ともに全員が県大会出場を目指してがんばります。
卓球部	八重樫 颯太 くん	卓球部は3日, 4日に行われる長水大会に出場します。男子は団体, 個人ともに北信大会, 女子は個人で県大会を目指してがんばります。
野球部	浅川 大地 くん	17日から行われる北信大会が始まります。初戦は, 野沢温泉中学校です。北信越大会を目指してがんばります。応援よろしくお願いします。
陸上部	藤井 勇氣 くん	4日に行われる北信大会に出場します。一人ひとりが自己ベストを出し, 少しでも多く上の大会に出られるように努力したいと思います。
剣道	帯刀 友崇 くん	強そうな相手にも積極的に攻めて行き, 負けてしまっても自分のもてる力が出せるようにがんばります。
サッカー	前田 成陸 くん	10日, 11日に行われる長水大会に出場します。去年の新人戦の結果を越えられるようにがんばります。

今年度の生徒会スローガン「飯中’BEST」。一球，一打，一走，一瞬に，これまで積み上げてきたすべての思いを込め，最後の最後まであきらめずに精一杯力を発揮してください。大会をとおして，技能の面だけでなく，人間的にも幅を大きく広げることでしょう。力を出し切って大会を終え，それまでの自分の殻を破り，晴れ晴れとした姿で学校へ戻ってくるみなさんに出会えることを楽しみにしています。

各クラス・学年では，5月から応援練習を積み重ね，選手の活躍を祈念して本日壮行会を行いました。



<5月の校長講話> 『稚心（ちしん）を去（さ）れ』

「稀勢の里」関，この間横綱に昇進し，横綱として迎えた大阪場所13日目の取組で左腕に大怪我をしました。すぐに病院に運ばれ，日本中の誰もが，もうこの場所で土俵には戻ってくることはできないと思っていました。まさに，絶対絶命の大ピンチです。しかし，大方の予想に反して，負傷を押しして強行出場，左腕，左肩はテーピングで固められ，痛々しい黒あざがあります。「稀勢の里」関が土俵に上がると，それだけでも場内は大歓声でした。そして，なんと，なんと，「稀勢の里」関は，大逆転で優勝を飾ってしまったのです。「稀勢の里」関，本名は「萩原寛（はぎわら ゆたか）さん」と言います。その萩原寛少年15才が，卒業文集に記した言葉です

「天才は生まれつきです。もうなれません。努力です。努力で天才に勝ちます。萩原」萩原少年15才の決意です。萩原少年は，中学校卒業と同時に，高校には行かず，大相撲の世界に飛び込んだのです。相撲界で最も稽古がきびしいことで知られた鳴戸部屋に入門しました。

「一番きびしいところで磨きたい。やるなら相撲一本で生きていこうと思った」と当時を振り返っています。そして，猛稽古の末，初土俵から15年。所要73場所ついに横綱の地位に上り詰めたのです。近年では，一番の遅咲きでした。

すごいですね。横綱になったこともすごいです，15才で，きびしい世界に飛び込む決意をしたことがすごいです。15才で大相撲の世界に飛び込んだことを最近知り，衝撃を受けました。

萩原寛さん，稀勢の里は，15才にして，『幼稚な気持ちを捨て去り，将来に向かって立つ』のです。5月，いよいよ中学校生活も本格的になります。1年生の皆さんは，初めての中間テストがあります。2・3年生の皆さんは部活動の本大会に向けて打ち込む時期です。これから中学生としてたくさんの方に「挑戦」する皆さんを応援する言葉として，『稚心（ちしん）を去（さ）れ』を贈ります。「稚心」とは，幼稚な心，すなわち子どもじみた心のことです。自分の好きなことばかり熱中し，楽なことばかり追いかける。いつまでも親に甘え，なすべきことをやらず厳しいもの，つらいことから逃げる。これは子供だから許されることであり，13，14歳となって学問や将来を志す年齢になって，その気持ちが少しでも残っていようものなら，何をしても上達しないし，一人前にはなれない。自分自身の「人生を見据え，将来に向かって立つ」ためには，まず，第一に「稚心を去る」ことです。さらに付け加えるならば，自分自身のなしたことの「結果に責任を持つ」ことです。今日の私のお話は，「稀勢の里」関のエピソードとともに，この『稚心を去れ』を贈ります。「夢と勇気をもって，挑戦」し，中学校時代を充実させてください。



1学期も後半にさし掛かりました。中体連の大会だけでなく，生徒会活動，学年行事，総合的な学習が充実する6，7月です。日々の授業を大切にしながら，さまざまなことに挑戦していきましょう。

・H I F F V



・u t S . . . V